



安全データシート
IRATHANE C-155HS CURING AGENT

項目1：化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品名 IRATHANE C-155HS CURING AGENT

1.2. 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 2成分型、イソシアネートを基剤とする接着剤。

1.3. 安全データシートの供給者の詳細

供給者

ITW Performance Polymers
Bay 150
Shannon Industrial Estate
Co. Clare
Ireland
V14 DF82
353(61)771500
353(61)471285
mail@itwpp.com

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 +44(0)1235 239 670 (24h)

項目2：危険有害性の要約

2.1. 化学物質又は混合物の区別

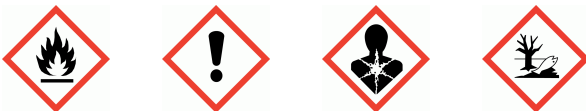
物理化学的危険性 引火性液体 区分2 - H225

健康有害性 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H336 特定標的臓器毒性 (STOT)、反復ばく露区分2 - H373

環境有害性 水生環境有害性、慢性毒性 区分2 - H411

2.2. ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H319 強い眼刺激。
H336 眠気又はめまいのおそれ。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

IRATHANE C-155HS CURING AGENT

注意書き

P210 熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
 P261 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。
 P273 環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P314 気分が悪いときは、医師の診断 / 手当てを受けること。

含有物

ETHYL ACETATE, DIETHYLMETHYLBENZENEDIAMINE

項目3: 組成及び成分情報

3.2. 混合物

ETHYL ACETATE	60-100%
CAS番号: 141-78-6	
分類 引火性液体 区分2 - H225 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H336	
DIETHYLMETHYLBENZENEDIAMINE	10-30%
CAS番号: 68479-98-1	
毒性乗数 (M) (急性) = 1 毒性乗数 (M) (慢性) = 1	
分類 急性毒性 区分4 - H302 急性毒性 区分4 - H312 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319 特定標的臓器毒性 (STOT)、反復ばく露区分2 - H373 水生環境有害性、急性毒性 区分1 - H400 水生環境有害性、慢性毒性 区分1 - H410	

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

項目4: 応急措置

4.1. 応急措置の説明

吸入	被災者を汚染源から移動させること。被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。
経口摂取	直ちに医師の手当てを受けること。無理に吐かせないこと。
皮膚接触	直ちに汚染された衣類を取り除き皮膚を石鹸と水で洗うこと。少なくとも15分間洗い続けること。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。
眼接触	直ちに多量の水で洗うこと。少なくとも10分間洗い続けること。少なくとも15分間洗い続けた後に医師の手当てを受けること。

4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報 記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さ依存して変化する。

4.3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 症候に基づいた処置を行うこと。

IRATHANE C-155HS CURING AGENT

項目5：火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤 泡消火剤、二酸化炭素または粉末消火剤で消火すること。

使ってはならない消火剤 火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。

5.2. 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼副産物 炭素酸化物。熱劣化または燃焼により、酸化炭素及び他の毒性ガスまたは蒸気を放出することがある。

5.3. 消火を行う者の保護

消火を行う者を保護するための特別な保護具 陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。

項目6：漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 密閉区域内での流出物除去中は必ず適切な呼吸用保護具を着用すること。流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。適切に換気すること。

6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 あらゆる環境汚染の発生を防止または最小限に抑えること。排水管または水路あるいは地表への放出を防止すること。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 すべての点火源を排除すること。流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。適切に換気すること。可燃物を流出物から遠ざけること。適切に換気すること。不燃性、吸収性の材料に流出物を吸収させること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。回収した流出物を入れた容器には必ず正確な内容物と危険有害性シンボルを標示しなければならない。

6.4. 他の項目の参照

他の項目の参照 この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること。

項目7：取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための予防措置

使用上の予防措置 熱、火花および裸火から遠ざけること。流出を避けること。皮膚および眼との接触を避ける。長期にわたる暴露および/または高濃度の蒸気、スプレーまたはミストに対しては適切な保護具を着用すること。汚染されたぼろ切れおよび布は防火容器に入れて廃棄しなければならない。優良個人衛生手順を実行しなければならない。仕事を離れる前に手と他の汚染された身体の部位を石鹸と水で洗うこと。蒸気の吸入を避けること。適切に換気すること。

7.2. 混触禁止物質を含む、安全な保管条件

保管上の予防措置 密閉した、元の容器に入れて乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。熱、火花および裸火から遠ざけること。酸化剤との接触を避けること。次の物質から遠ざけて保管すること：酸。混触危険物質 (セクション10を参照) から遠ざけて保管すること。

7.3. 特定最終用途

特定最終用途 この製品の意図された使用はセクション1で詳しく述べられている。

項目8：ばく露防止及び保護措置

8.2. ばく露防止

IRATHANE C-155HS CURING AGENT

適切な設備対策	適切な全体換気装置および局所排気装置を設けること。製品または成分の職業暴露限界値がある場合にはこれを遵守すること。
眼 / 顔面の保護	リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡を着用しなければならない。眼および顔を適切に保護する個人用保護具を着用しなければならない。
手の保護	リスク評価により皮膚接触の可能性が指摘された場合には承認された規格に適合した耐薬品性の、不浸透性手袋を着用しなければならない。手袋の材料の破過時間に関する情報を提供することができる手袋供給業者/製造業者と協議して、最も適切な手袋を選択しなければならない。手を化学物質から保護するために、化学物質に対する不浸透性および分解耐性が証明されている手袋を着用しなければならない。選択される手袋は少なくとも8時間の破過時間を有していなければならない。
その他の皮膚及び身体の保護	接触する場合にはエプロンまたは防護衣を着用すること。
衛生措置	洗眼ステーションおよび安全シャワーを設けること。各作業シフトの終了後および飲食、喫煙およびトイレの使用前に洗うこと。取扱中は飲食禁止および禁煙。
呼吸器の保護	換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を必ず着用すること。呼吸マスクの選択は必ず暴露レベル、製品の危険有害性および選択した呼吸マスクの安全作業限界に基づいて行わなければならない。呼吸マスクが顔面に密着することおよびフィルタが定期的に交換されていることを点検すること。次のカートリッジを装着した呼吸マスクを着用すること：有機蒸気フィルタ。ガスフィルタ、タイプA2。意図した使用に適した交換可能な吸収缶を装備したハーフマスク式およびクォータマスク式の呼吸用保護具を使用しなければならない。

項目9：物理的及び化学的性質

9.1. 物理的及び化学的性質に関する情報

外観	着色した液体。
色	灰色。
臭い	有機溶剤臭。
pH	pH (希釈液) : 7-8.5%
融点	決定されていない。
初留点及び沸騰範囲	76.6°C @
引火点	-4.4°C TCC (タグクローズドカップ)
蒸発速度	>1 (ジエチルエーテル = 1)
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	燃焼/爆発上限界: 11.5 燃焼/爆発下限界: 1.8
蒸気圧	決定されていない。
蒸気密度	>1
相対密度	1.00 @ °C
揮発性有機化合物	この製品は最大含有量653g/litreのVOCを含んでいる。

項目10：安定性及び反応性

反応性	次の物質は製品と反応するおそれがある：酸。有機過酸化物/ヒドロペルオキシド。強酸化剤。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。

IRATHANE C-155HS CURING AGENT

危険有害性反応危険性	危険有害性反応の可能性は知られていない。
避けるべき条件	熱、火花およびその他の着火源を避けること。強酸化剤との接触を避けること。
混触危険物質	強酸化剤。有機過酸化物/ヒドロペルオキシド。強酸。化学的に活性な金属。
危険有害な分解生成物	炭素酸化物。熱劣化または燃焼により、酸化炭素及び他の毒性ガスまたは蒸気を放出することがある。

項目11：有害性情報

11.1. 有害性情報

急性毒性 - 経口

急性経口毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 4,807.69

急性毒性 - 経皮

急性経皮毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 10,576.92

吸入

この製品からの蒸気を吸入すると危険有害性のおそれがある。蒸気は喉/呼吸器系を刺激するおそれがある。単回暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある：咳。呼吸困難。蒸気は嗜眠状態およびめまいをおこすことがある。

経口摂取

高濃度の化学物質を飲み込むと重篤な内部損傷を引き起こすおそれがある。胃腸症状、胃のむかつきを含む。口、食道および胃の化学熱傷を引き起こすおそれがある。

皮膚接触

皮膚を刺激する。長期にわたり接触すると発赤、刺激および乾燥皮膚を引き起こすおそれがある。敏感な個人に感作またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。

眼接触

眼に重度の障害を与えるリスクがある。眼の化学熱傷を引き起こすおそれがある。蒸気またはスプレーは眼損傷、視力障害または失明を引き起こすおそれがある。

進入経路

吸入 摂取。皮膚および/または眼との接触

標的臓器

眼 皮膚 呼吸器系、肺

項目12：環境影響情報

生態毒性

製品は水生生物に対して有害かつ水生環境中で長期継続的悪影響を引き起こすおそれのある物質を含む。

12.2. 残留性・分解性

残留性・分解性

この製品の分解性についてのデータは無い。

12.3. 生体蓄積性

生体蓄積性

生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

12.4. 土壌中の移動性

移動性

製品は水に混和性であり河川水系に広がるおそれがある。

12.6. 他の有害影響

他の有害影響

決定されていない。

項目13：廃棄上の注意

13.1. 廃棄上の注意

IRATHANE C-155HS CURING AGENT

一般情報 廃棄物は危険有害性廃棄物に分類される。現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない。

廃棄方法 現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。引火性液体で汚染された掃除用の布切れおよびペーパータオルは使用後に自己着火するおそれがあるので指定された密閉型の、自動閉鎖性の蓋を備えた耐火容器で保管しなければならない。

項目14：輸送上の注意

14.1. 国連番号

国連番号 (道路輸送/鉄道輸送) 1139

国連番号 (IMDG) 1139

国連番号 (ICAO) 1139

14.2. 品名 (国連輸送名)

品名 (国連輸送名) (道路輸送/鉄道輸送) COATING SOLUTION

品名 (国連輸送名) (IMDG) COATING SOLUTION

品名 (国連輸送名) (ICAO) COATING SOLUTION

14.3. 国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

道路輸送/鉄道輸送クラス 3

道路輸送/鉄道輸送ラベル 3

IMDGクラス 3

ICAOクラス / 区分 3

輸送ラベル



14.4. 容器等級

道路輸送/鉄道輸送容器等級 II

IMDG容器等級 II

ICAO容器等級 II

14.5. 海洋汚染物質

環境有害物質 / 海洋汚染物質



14.6. 使用者のための特別予防措置

非常措置指針 (EmS) F-E, S-E

IRATHANE C-155HS CURING AGENT

危険物識別番号 (道路輸送/鉄
道輸送) 33

項目15 : 適用法令

項目16 : その他の情報

改訂日付 2018/04/04

改訂版 5

破棄日付 2017/05/22

危険有害性情報の全文

H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H302 飲み込むと有害。
H312 皮膚に接触すると有害。
H319 強い眼刺激。
H336 眠気又はめまいのおそれ。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
H400 水生生物に非常に強い毒性。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明を行うものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。